

## 三菱パイプ用ファン

(居室・トイレ・洗面所用)

形名	グリル形状	グリル色調	電源仕様	24時間換気機能
V-08P7	角形格子グリル	ホワイト	電源プラグ	—
V-08PD7	角形格子グリル	ホワイト	速結端子	—
V-08PLD7	角形格子グリル	ホワイト	速結端子	●(本体電源スイッチ付)
V-08PX7	インテリアパネル	ホワイト	電源プラグ	—
V-08PXD7	インテリアパネル	ホワイト	速結端子	—
V-08PXD7-BE	インテリアパネル	ベージュ	速結端子	—
V-08PM7	丸形パンチンググリル	ホワイト	電源プラグ	—
V-08PC7	丸形格子グリル	ホワイト	電源プラグ	—
V-08PFLD7	角形格子グリル	ホワイト	速結端子	●
V-08KLD3	角形格子グリル	ホワイト	速結端子	●(本体電源スイッチ付)
V-08XLD3	インテリアパネル	ホワイト	速結端子	●(本体電源スイッチ付)
V-08KPL3	角形格子グリル	ホワイト	電源プラグ	●(本体電源スイッチ付)
V-08KPLD3	角形格子グリル	ホワイト	速結端子	●(本体電源スイッチ付)
V-08XPLD3	インテリアパネル	ホワイト	速結端子	●(本体電源スイッチ付)
V-08XPLD3-BE	インテリアパネル	ベージュ	速結端子	●(本体電源スイッチ付)
V-08PPX7	インテリアパネル	ホワイト	電源プラグ	—
V-08PPXD7	インテリアパネル	ホワイト	速結端子	—
V-08PPXD7-AF	インテリアパネル	ホワイト	速結端子	—
V-08PPFLD7	角形格子グリル	ホワイト	速結端子	●

(居室・トイレ・洗面所・店舗・事務所用)

形名	グリル形状	グリル色調	電源仕様	24時間換気機能
V-08PWBD3	ブラケットパネル	ホワイト	速結端子	—
V-08PWXD3	着せ替えインテリアパネル	シルバーホワイト(出荷時)	速結端子	—

(浴室・トイレ・洗面所用)

形名	グリル形状	グリル色調	電源仕様	24時間換気機能
V-08PP7	角形格子グリル	ホワイト	電源コード直付	—
V-08PPD7	角形格子グリル	ホワイト	速結端子	—
V-08PPM7	丸形パンチンググリル	ホワイト	電源コード直付	—
V-08PPC7	丸形格子グリル	ホワイト	電源コード直付	—
V-08PPFL7	角形格子グリル	ホワイト	電源コード直付	●
V-08PPD7-AF	角形格子グリル	ホワイト	速結端子	—

## 据付説明書

販売店・工事店様用

据付けを始める前に、誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を梱包外側の「警告」「注意」で説明しておりますので、この説明書とともによくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

据付終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

- 据付け、壁穴工事はお買上げの販売店・専門の工事店様が実施してください。(間違った据付け、工事は、故障や事故の原因になります)
- 電気工事は電気工事士の方が実施してください。
- 形名をよく確認し用途にあった場所に据付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。(故障の原因になります)
- 形名によって据付方法が異なりますので、予めご使用の形名をご確認ください。
- 直接屋外に排気する場合は、雨水浸入防止のためシステム部材(屋外フードなど)を据付けてください。
- 雨水浸入防止のため外風の吹き付けの強い場所では風圧シャッター付深形フードを据付けることをおすすめします。
- V-08PFLD7、V-08PPFL7、V-08PPFLD7と24時間換気機能を備えていない製品の運転・停止にはシステム部材または市販のコントロールスイッチが必要です。  
※V-08PFLD7、V-08PPFL7、V-08PPFLD7のコントロールスイッチはP-04SWL(B)5を推奨します。  
上記コントロールスイッチをご使用にならない場合は、容易に停止されない工夫が必要です。  
(例) ●常時運転すべきことを指示する注意書きの貼付けのあるもの。  
●切りボタン(OFFスイッチ)にカバーを設けた構造のもの。  
●長押しでOFFとなる構造のもの。  
●専用ブレーカーを設ける。
- 接続パイプは市販品の塩化ビニル管(VU、VP(呼び径100mm))または鋼板管(内径100mm)のいずれかをご用意ください。

## 1. 安全のために必ず守ること

⇒梱包箱をご確認ください

## 2. 据付前のお願

- 高温(40℃以上)になるところに据付けないでください。(故障の原因になります)
- 塩害、温泉害の発生している場所には据付けないでください。(故障の原因になります)
- 燃焼機器の排気口の近くには据付けないでください。(燃焼機器から排出された排気ガスが含まれた外気が、強風のときなどに室内に侵入すると、臭気などの原因になります)
- システム部材(屋外フードなど)は壁厚にあったものを選んでください。(壁厚により据付けられないものがあります)
- 天井・壁板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを据付けてください。
- アルミプレキシブルダクトへの据付けはしないでください。(振動の原因になります)
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。

## 3. 各部のなまえと外形寸法図

- 各部のなまえ ⇒裏面の取扱説明書の「3. 各部のなまえ」をご確認ください
- 外形寸法図 ⇒梱包箱をご確認ください

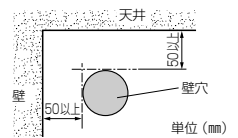
【付属部品】 木ネジ……2本(浴室用はステンレス製)

## 4. 据付方法

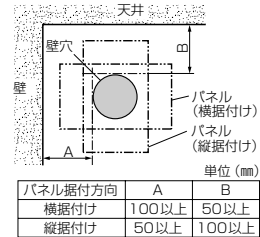
### 1 据付前の準備

壁据付けの場合(壁穴への接続パイプの固定)

1. 据付場所を決めて壁穴をあける。
  - 右図の壁穴位置をご確認ください。
  - 接続パイプには塩化ビニル管の薄肉(VU)と厚肉(VP)管および鋼板管があります。壁厚に応じて長さを決めてください。
  - 必ず床面より1800mm以上のメンテナンス可能な位置に据付けてください。



■V-08PWBD3の場合



パネル据付方向	A	B
横据付け	100以上	50以上
縦据付け	50以上	100以上

V-08PWBD3の場合

- パネルの据付方向により、壁穴位置が異なります。

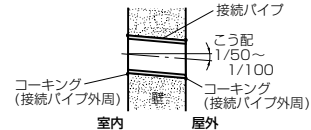
お願い

- 据付位置は右図の位置になるようにしてください。右図の寸法より小さくなりますと製品が据付けられない場合や製品に電源スイッチを備えている機種では電源スイッチが押せない場合があります。

2. 壁穴に接続パイプを確実に固定する。

接続パイプと壁のすき間はコーキング処理を施します。

- 電源電線を室内に引き込んでから(電気工事参照)行ってください。
- 固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
- 室内への水浸入を防ぐため、接続パイプは室内壁面まで差し込みます。



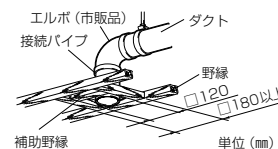
※接続パイプは壁面より室内側に出ないようにしてください。

お願い

- 接続パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に下りこう配をつけ、固定してください。

天井据付けの場合(野縁工事とダクト工事)

1. 下図のように野縁工事をし、ダクト工事をする。



お願い

- 接続パイプが壁から右図の位置になるようダクト工事を行ってください。右図の寸法より小さくなりますと製品が据付けられない場合や製品に電源スイッチを備えている機種では電源スイッチが押せない場合があります。

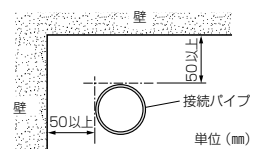
2. ダクトの中心から天井板まで185mm以上離して天井板を張る。

3. エルボと天井板の間は接続パイプを接続する。

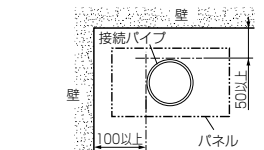
4. 接続パイプと天井のすき間はコーキング処理を施す。

お願い

- ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外側に1/100以上の下りこう配をつけてください。
- 天井板に強度がないときは補強材を入れてください。



■V-08PWBD3の場合



※接続パイプは天井面より室内側に出ないようにしてください。

### 2 電気工事

電源電線の接続・電気工事などは、必ず専門の工事店へご相談ください。

- 市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを選定して結線してください。  
※浴室用機種は電気用品安全法の二重絶縁構造に適合しており、アース工事不要です。

#### 警告

- 交流100Vを使用する直流や交流100V以外を使用すると感電の原因。

#### 注意

- 電気工事は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令(及び同解説)及び「内線規程」に従って安全・確実に行う。接続不良や誤った電気工事は、火災・感電の原因。
- 電気工事は電気工事店に依頼する感電の原因。

電源プラグタイプの場合

内線規程に基づくコンセントを室内の換気扇の近くに設置する。

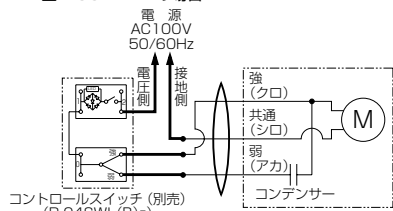
電源コード直付タイプの場合

電線同士の接続を行う場合は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令(及び同解説)及び「内線規程」に従って実施してください。

結線図……太線部分を結線してください。

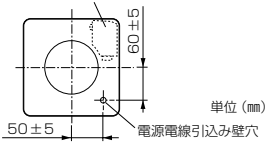
■V-08PPFL7の場合

- 防火ダンパー付フードを使用される場合、ダンパーが閉じるときは電源電線をはずさないように配線してください。
- 屋外に電源コンセントを設ける場合は雨の当たらないところに設置してください。



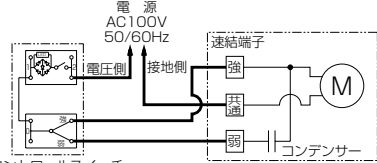
### 速結端子タイプの場合

- 電源電線を下図の位置から室内に引き込む。
  - 電源電線は VVF φ 1.6 または φ 2.0 2 芯 (V-08PP (X) D7-AF は VVF φ 1.6 2 芯、V-08PFLD7、V-08PPFLD7 は VVF φ 1.6 または φ 2.0 3 芯) をご使用ください。



結線図……太線部分を結線してください。

#### ■V-08PFLD7、V-08PPFLD7の場合



コントロールスイッチ (別売) (P-04SWL (B)5)

### 3 本体の据付け (壁据付け・天井据付けともに同様の据付けかたです)

- 本体からグリルをはすす。

- 結線をする。  
(電気工事は電気工事士の方が実施してください)

### 電源コード直付タイプの場合

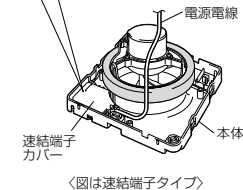
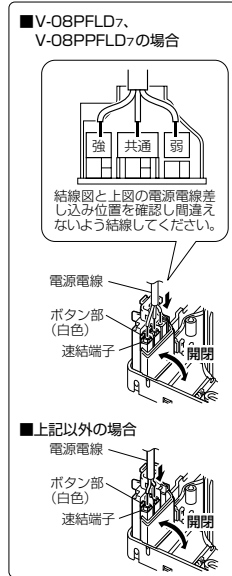
電源コードと電源電線との接続は、電線に適合したリングスリーブなどを使用し、専用のカシメ工具を用いて確実にカシメ接続して絶縁処理をします。

### 速結端子タイプの場合

- 速結端子カバーを右図のように開ける。
- 電源電線を速結端子に差し込む。
- 速結端子カバーを元通り閉じ確実に固定する。

#### お願い

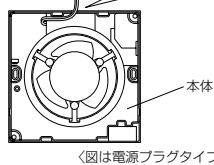
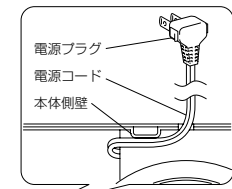
- 電源電線は確実に速結端子に差し込みます。速結端子より導体が出ないようにしてください。
- 電源電線を軽く引いて速結端子に確実に固定されていることを確認してください。
- 電源電線をかみ込まないように本体面に密着させて配線してください。
- 電源電線を速結端子よりはずす場合は、ボタン部 (白色) を押しながら電源電線を引き抜いてください。



### 電源プラグタイプの場合

#### ■電源プラグを上から出す場合

右図のように電源コードをかみ込まないように本体側壁に沿わせて配線してください。(V-08PM7、V-08PC7は除く)

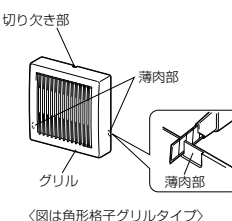


#### ■電源プラグを左右から出す場合

グリルの薄肉部を切り欠いてください。本体上部の切り欠き部は市販のテープなどでふさいでください。

#### お願い

- 電源コードをかみ込まないように本体、グリルの切り欠き部から引き出してください。



- 本体の上下を確認してパイプに差し込み、付属の木ネジ2本で本体を固定する。
  - 本体の刻印「上」を上側にして据付けてください。
  - 左右の据付用長穴をご使用ください。必要に応じてコーナー部据付用長穴をご使用ください。
  - 石膏ボードに据付ける場合は、市販の石膏ボード用アンカーを必ず使用してください。

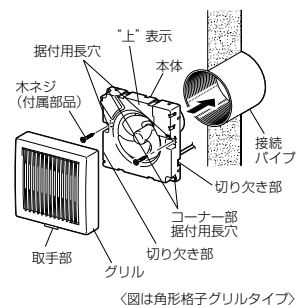
#### お願い

- インパクトドライバーは使用しないでください。本体の固定部分が破損するおそれがあります。

- グリル (フレーム、パネル) を本体に据付ける。

#### お願い

- 本体に表示された「上」の位置を確認してください。
- グリル (フレーム) の取手部が本体「上」表示の反対側にくるように据付けてください。(据付向きを間違えると落下によるけがの原因)



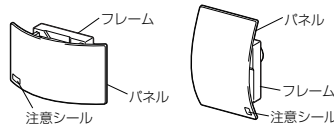
### V-08PWXD3の場合

- 汚れ、傷つき防止のため、パネル (透明) の保護シートはお客様へ引渡す直前にはがしてください。

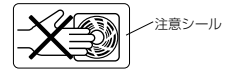
### V-08PWBD3でパネルの据付方向を変更する場合

パネルのみ縦・横自在に据付けることができます。

横据付けの場合 縦据付けの場合



※横・縦据付とも下図の注意シール (赤色) が下側になるようパネルを据付けてください。



### パネルの据付け

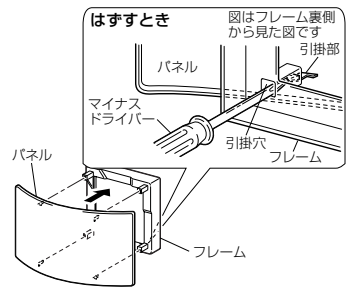
パネルの引掛部4か所すべてをフレームの引掛穴に軽く入れてから、まっすぐに押し込んで固定する。

#### お願い

- 天井据付けの場合は、パネルは横据付けの状態でご付けてください。
- 引掛部が引掛穴に入っていない状態で無理に押し込むと引掛部破損の原因となります。
- パネル据付作業はフレームを本体からはずして行ってください。

### パネルの取りはずし

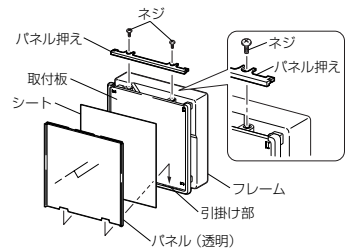
マイナスドライバーなどを使用して、フレーム裏側の引掛穴から引掛部を1か所ずつ (合計4か所) はずす。



### V-08PWXD3でパネル内部のシートを着せ替える場合

パネル内部のシートを同梱のシート・お好みのクロスまたは写真などに着せ替えることで居室に調和します。

- ①ネジ2本をゆるめ、パネル押えを図のようにはずす。
- ②パネル (透明) をはずし、シートを取り出す。
- ③同梱のシートを差し替えるかクロス (□152 ~ 153 mm) などをはさみ、図のように引掛け部を合わせてパネル (透明) で押さえ、パネル押え、ネジの順序で組立てる。



#### お願い

- 着せ替え作業は本体からフレームをはずした状態で行ってください。
- ネジの締めつけに電動工具などは使用しないでください。(手回しドライバーを使用して強く締めすぎないようにしてください) 強く締めるとパネル押えが変形するおそれがあります。
- シートは濡らさないでください。
- パネル (透明) にヒビ割れ・欠けなどがある場合はパネル (透明) は使用しないでください。
- パネル (透明) を無理に据付けしないでください。

- 以上の据付けが終了した後、本体とグリル (フレーム、パネル) が確実に据付けられているか確認する。

- 試運転を行う。

- 製品が運転・停止するかを確認してください。(製品に電源スイッチを備えている機種は「入・切」の状態を確認してください)
- 異常な音・振動などがなければ確認してください。

### V-08PP (X) D7-AFの場合

- エアフロー環気システムとして使用する場合はコントローラユニット (P-01CND4) の据付説明書に従い試運転を行ってください。